

# 「私の除菌対策、これでいいのかわ」不安なあなたへ これがすぐに簡単に安心な室内空間を作る方法です。

長時間持続※1  
長期間保存可能

無臭・無着色  
ノンアルコール

ベイクリーン  
VAICLEAN は  
本当の安心と快適をお届けする  
最先端の除菌・抗菌剤です

室内除菌  
置き型タイプ

1.5～2ヶ月除菌※2  
6～8畳

室内除菌  
ミストタイプ  
1週間除菌※2

## 開発の理念と目的

私たちが生活している自然界には、約40万種を超える菌が生息していると言われておりますが、特に生活環境で発見され、私たちの生活に害を与える菌は「阻止すべき57種類のカビ、細菌」として、世界微生物災害防止機関にて確認されています。VAICLEANはこれらの微生物による災害をなくし、「環境をクリーンに保ち、微生物を発育させない制菌環境を作る」ため、特に院内感染・日和見感染の阻止を目的に開発されました。



車内・シート・ハンドル



玄関・下駄箱・靴



ペットの身の回り用品



室内・寝具・ソファ



トイレ・洗面所



ドアノブや手すり



おもちゃ・ベビーカーなど



衣類のカビ対策

◆主な用途:除菌・抗菌・消臭・防カビ ◆無香料・アルコールフリー  
◆主成分:ピグアナイト系(PHMB)・ジヨードメチルトリルスルホン・精製水

※1 ピグアナイト系の安定薬剤を主成分とした複合物で組成されている複合剤なので、他の除菌剤と異なり耐性菌の発生を長時間抑制することができます。  
※2 使用状況によっては持続力が異なります。

# 試験結果が実証する、ベイクリーン 除菌スプレーでの実績と信頼

## 1

### ウイルス試験

下記試験の通り、非常に高いウイルス不活化が認められました。

コロナウイルス不活性化試験の結果

#### 新型コロナウイルス代替試験

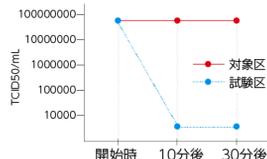
ベイクリーンによるコロナウイルスの不活性化を下記の通り確認しました。

99.9%以上の減少

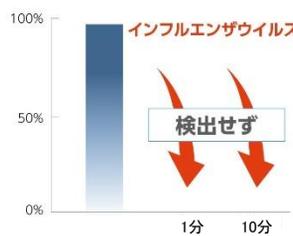
コロナウイルス試験結果(TCID<sub>50</sub>/mL)

区	試験開始時	開始後10分	開始後30分
対象区	10 <sub>e.7</sub>	10 <sub>e.7</sub> (5000000)	10 <sub>e.7</sub> (5000000)
試験区		<10 <sup>3.5</sup> (<3200)	<10 <sup>3.5</sup> (<3200)

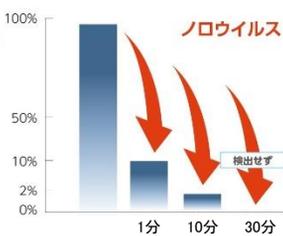
コロナウイルス 試験結果



試験機関: 食環境衛生研究所 試験番号: 207228N



試験機関: 日本食品分析センター

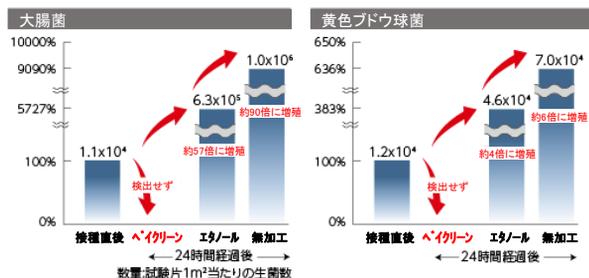


試験機関: 日本食品分析センター  
ウイルス不活性化試験

## 2

### 殺菌消毒剤と持続性効果比較試験

ベイクリーンは700種類以上の菌に対し、効果が認められている除菌剤です。1分後には除菌効果が認められ、24時間経過後も繁殖させない効果が認められます。大腸菌と黄色ブドウ球菌を試験菌とし、ご家庭で一般的に使用されるアルコール殺菌消毒剤とベイクリーンの比較試験を行いました。



試験方法

ガラス板の真上約10CMの位置から検体を2回噴霧し、一晚乾燥させ菌を採取してから24時間後に生菌数の数を測定。

試験機関: 日本食品分析センター JIS z2801:2010準拠

## 3

### カビ抵抗性試験

ベイクリーンはカビ菌に非常に効果的な成分を配合しており、ベイクリーンを含浸した綿布には一切の菌が発生しておりませんでした。

試験機関: 衛生微生物研究センター

## 4

### 抗菌活性値試験

下記試験の通り、非常に高い抗菌効果が認められました。

検体活性値	抗菌効果の目安
活性値2.0	菌の数が100分の1に減少
活性値5.0	菌の数が10万分の1に減少

※試験基準: 活性値2.2以上、3.0を超えると検体に強い効果があると試験機関に認められる。

ベイクリーン抗菌活性値: 5.7  
一般的な抗菌防臭加工の活性値: 2.2~3.0

試験方法

ベイクリーンを噴霧した標準綿(検体)に黄色ブドウ球菌を接種し、18時間培養後の生菌数(活性値)を測定。

試験機関: カケンテストセンター JIS L1902:2015、菌液吸取法、準用

## 5

### 消臭効果試験

ベイクリーンは消臭試験の結果、トイレ臭・ペット臭・生ゴミ臭(アンモニア)・靴・靴下等の臭い(イソ吉草酸)・洗濯物の臭いに対し優れた消臭性能が実証されました。また事前に、臭いの気になる箇所に吹きかける事で高い防臭効果が見込めます。

試験対象ガス	比較	試験時間(分)			消臭率
		開始時	10分	30分	
アンモニア	ベイクリーン	100	25	19	81%
	未使用	100	95	91	
酢酸	ベイクリーン	50	9	3	94%
	未使用	50	50	48	
イソ吉草酸	ベイクリーン	15	検出せず		99.9%
	未使用	15	15		

(単位:ppm)

試験機関: 財団法人 日本食品分析センター

## 高い安全性と信頼性

ベイクリーンの主成分は、各国公的機関で安定薬剤として認可を取得した薬剤のみを複合精製したものです。また、第三者機関における安全性試験の結果、極めて高い安全性が認証されました。

#### 安全性試験

- ① 急性毒性試験 毒性は認められず
- ② MRSA大腸菌最小発育阻止濃度値 十分な効果が認められる
- ③ ダイオキシン及びフラン類定量試験 全項目TEQ=0
- ④ 変異原性(AMES)試験 陰性であると判明
- ⑤ 急性経口毒性試験 異常及び死亡は認められない
- ⑥ 眼刺激性試験 軽度刺激
- ⑦ 皮膚一次刺激性試験 無刺激
- ⑧ 金属腐食試験 異常は認められない

※①~⑦の試験: 財団法人 日本食品分析センター ⑧の試験: 自社試験

各国機関が公開している有害化学物質リスト(ベイクリーンに一切含有なし)

- ① METI(経済産業省既存科学物質リスト)
- ② CAS(アメリカ既存科学物質リスト)
- ③ EPA(アメリカ環境保護庁リスト)
- ④ EINECS(欧州既存商業化学物質リスト)
- ⑤ PRTR法通知対象物質916物質
- ⑥ 環境省「水環境保全に向けた取り組みの為に要調査事項300項目」
- ⑦ 環境省「内分分泌攪乱作用を有すると疑われる科学物質70」
- ⑧ 労働安全衛生法

※ベイクリーンは、これらの有害化学物質リストに特定されている物質は一切含まれておりません。

発売元

株式会社T・M・F

〒455-0021 愛知県名古屋港区木場町2-8  
TEL: 052-746-1826 FAX: 052-746-1827

製造監修: 社団法人 国際未病科学センター



ご相談・お問合せ先